

平成23年行政事業レビューシート(外務省)

事業名	海外邦人緊急電話対応経費		担当部局庁	領事局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度		担当課室	海外邦人安全課		課長 一方井 克哉		
会計区分	一般会計		施策名	IV-2 海外邦人の安全確保に向けた取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第9項		関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	在外公館の週末・夜間の閉館時における電話照会及び緊急電話対応を外部の民間アシスタント会社に委託し、簡単な電話照会は各在外公館が作成するマニュアルに基づきアシスタント会社が対応することとしつつ、緊急対応を要する事件・事故は、直ちに領事担当官に取り次ぐことで緊急事態に対する即応体制の確保及び領事担当官の業務負担軽減を図るもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	在外公館には夜間、土日祝日を問わず電話照会等が寄せられ、これらの中には緊急を要する事件・事故等の連絡もあり、限られた人員の中でそれらに如何に効率的・効果的に対応するか在外公館にとって大きな課題となっている。海外邦人緊急電話対応は、右課題解消のため、在外公館の閉館時における電話照会及び緊急電話対応を外部の民間アシスタント会社に委託し、簡単な電話照会は各在外公館が作成するマニュアルに基づきアシスタント会社が対応することとしつつ、緊急対応を要する事件・事故は、直ちに領事担当官に取り次ぐことで緊急事態に対する即応体制の確保を図るものである。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	192	212	206	191	169	
		繰越し等	187	212	206	191		
		計	—	—	—	—		
	執行額	187	212	206	191	169		
	執行率(%)	183	197	159				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	在外公館閉館時における迅速かつ適時・適切な邦人援護実施のための体制構築。毎年導入公館を増やし、体制の拡充を図った。		成果実績	公館	73	93	104	127
			達成度	%	100%	100%	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	在外公館閉館時における在外領事の迅速かつ適時・適切な邦人援護実施のための体制構築として民間アシスタント会社へ委託		活動実績 (当初見込み)	契約会社数	6	6	6	7
			算出根拠		128,934=13,409,136(月額総契約額)÷104(導入公館数)			
単位当たりコスト	月額 128,934(円/公館)							
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	191,447	169,464	競争見積りにより、契約価格の値下げが図られたため。				
	計	191,447	169,464					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>専門アシスタント会社を通じて、在外公館閉館時における邦人等からの緊急事案通報や各種照会等に対し、迅速な対応がなされ行政サービスの向上が図られた。契約形態を国毎の契約から移動及び法令・慣習等の観点から共通性のある地域毎の契約に移行し、一契約の中に複数の公館をまとめることで一公館あたりの契約単価の減少等予算の節減に努めた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業見直し、単価見直しによる減	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(事業見直し、単価見直しによる減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

費用・使途
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

外務省
159百万円

(在外公館の閉館時における
緊急電話対応業務)



【随意契約】

緊急電話対応専門
アシスタント会社
159百万円

(在外公館閉館時における
緊急電話の対応業務)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
謝金	Japanese Assistance Network 閉館時緊急電話対応業務委嘱	92			
謝金	International SOS 閉館時緊急電話対応業務委嘱	47			
謝金	上海ウェルビー 閉館時緊急電話対応業務委嘱	14			
謝金	善堂 閉館時緊急電話対応業務委嘱	4			
謝金	ブルーグラウンド 閉館時緊急電話対応業務委嘱	3			
計		160	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	Japanese Assistance Net	在外公館の閉館時における緊急電話対応	92	随意契約	—
2	International SOS	在外公館の閉館時における緊急電話対応	47	随意契約	—
3	上海ウェルビー	在外公館の閉館時における緊急電話対応	14	随意契約	—
4	善堂	在外公館の閉館時における緊急電話対応	4	随意契約	—
5	ブルーグラウンド	在外公館の閉館時における緊急電話対応	3	随意契約	—
6	Micronesia Assistance INC	在外公館の閉館時における緊急電話対応	0.7	随意契約	—
7					
8					
9					
10					